墨田区のシニア向け情報紙　令和元年（２０１９年）１２月発行　第１９５号

どすこい かわら版

発行　墨田区　　編集　ＮＰＯ法人てーねん・どすこい倶楽部

墨田区墨田にあるハンコ屋さん「慶文堂」訪問取材

今年11月に開催された、スミファすみだファクトリーめぐり＊のワークショップとして、墨田1丁目にある「慶文堂」で来年の干支の文字を石印材に彫る体験ができることを知り、早速訪問した。出迎えてくれたのは、3代目となる「増澤かんな」さんで、1級印章彫刻技能士・1級ゴム印彫刻技能士の2つの資格をお持ちです。

早速、15㎜角の石のハンコに、様々な字体の中でも一番簡単そうな「子」の文字を彫ることに決めた。小学校の彫刻の授業のように、先生に言われるままに、朱色に染められた部分を「カリッ、カリッ」と少しずつ彫り、時々歯ブラシで、表面を掃除しながら作業を続ける。彫りながら、増澤さんにお話を伺いました。

Q1　慶文堂の由来を教えてください。

祖父が長野県松代町から本郷のハンコ屋へ奉公に出され、修行の後、大正時代に独立し墨田区に創業して、父が2代目、私が3代目になります。

Q2　この世界に入ったきっかけは？

子供のころから、居間で仕事をしていた祖父や、夜遅くまで仕事をしていた父の姿を見て育ったものですから、自然にこの世界に入れました。

Q3　最近、機械彫りが浸透していますが、手彫りにこだわっていますね？

彫るのが楽しくて彫っているので、機械彫りは私の楽しみを奪っているようなものです。私のこの手では手彫りしかできないんです。お客様との会話を大事にして、ご希望を伺って手彫りに生かしています。お客様らしさや雰囲気が出せるよう心がけています。

Q4　お仕事で一番うれしいのは、どういう時ですか？

お客様のご希望にそったハンコができて、「頼んで良かった！」とか、何十年もたって、「今でもあの時、彫ってもらったハンコ使っているよ！」と云われた時ですね。

それから、「あなたのおじいさんに彫ってもらったんだよ！」といって、また当店にご注文に来てくださった時は、ものすごくうれしいです。

Q5　ハンコの材料で、彫るのが難しいのはどれですか？

ゴムの手彫りが一番難しいと思います。ゴムは柔らかく、刃物の切れが一番肝心で、パソコンの普及によりゴム印の需要が少なくなったため、現在扱える人は極めて少ないですが、私の得意とするところです。各地の神社、寺院の御朱印、記念スタンプ等としてお使いいただいております。

Q6　壁には賞状が沢山ありますね？

平成23年に東京マイスターとして認定されました。それまでの仕事が認められて嬉しかったです。平成24年には、全国印章技術大競技会で彫刻ゴム印の部で厚生労働大臣賞をいただきました。全国の同業者の技術の研鑽の場です。毎回負けまいと頑張って制作しているので一位がいただけてうれしかったです。

昨年8月には東京国際フォーラムで開催された伝統と革新「ものづくり・匠の技の祭典2018」で左官職人・タイル職人の方との共同制作で約25㎝の巨大なゴム印を彫りました。オープニングセレモニーで都知事にお褒めの言葉をいただきました。

5年前になりますが、テレビ未来遺産で世界が驚く日本の職人として「6㎝四方に般若心経272文字を彫る職人」として紹介されました。そのゴム印は千葉県南房総にある能蔵院に納め、御朱印としてご利用いただいております。

Q7　これからの目標はなんですか？

さらに技を磨くと共に、後継者の指導に携わっていくことです。それといつまでも『町のハンコ屋さん』を続けて行きたいですね。

＊スミファすみだファクトリーめぐり
区の町工場を巡り、職人と話し、技術に触れ、ものが作られていく〝現場〟を肌で感じることのできるイベント。今年で8回目を迎え、11月23日（土）・24日（日）に開催。

店舗名：慶文堂
住　所：〒131-0031　墨田区墨田１－１４－２３
電　話/FAX：03-3611-8797

お母さんはケーキ屋「挑戦」その9　山谷　いく

充実の日々は短かった。夫の予期せぬ失職である。10歳も若い彼を問い詰める気にはならない。だが、このままではしょうがないから夫に提案してみた。「場所のいい所で一緒にケーキ屋でもやろうか」と言うと、夫は〈待ってました〉と言わんばかりに、直ぐOKした。

具体的な話が進み、一番の不安は人手と資金の確保だった。開店までの費用は前家賃と保証金等で約600万円、内装、空調設備、オーブンなどの機器総額2，７００万円ほどの見積となった。かつてない多額の借金を私は抱え込むことになる。果たして返済していけるだろうか。それに、店舗を借りるには保証人が必要だと不動産屋に言われてもいた。

あれこれ考えこんでいると、手慣れたケーキ作りの手元が狂いイライラしてしまう。挙げ句の果てには、今なら手付の5万円を損するだけで止めることが出来る。真剣に止めることを考えていた。

そんな悩みの日々が続くある日、『ママ』がケーキを買いに来てくれた。何かと皆さんの相談相手になってくれている方でこの町会の親しい人達は『ママ』と呼んでいる。

「ママ、私、決心がつきかねているのよ」と私の迷いをうなずきながら聞いていた。「好きな仕事なら、勇気と自信をもって、やるべきよ!」そう励ましてくれた。それでもしぶる私に「保証人なら、私がなってあげるから」とまで言ってくれた。もともとママは不動産会社も経営していたので、不動産賃貸関連の知識はプロであった。ママの励ましのおかげで〈保証人捜しの問題が解決するのではないか〉と思えた途端、現金なもので、〈夢のない生活なんて悲しすぎる。今は辛くても前に進むしかない〉と思い始める。

ケーキの箱を白いエプロンの胸に抱えるようにして帰るママに深く頭を下げた。〈ああ、ママに話してみて本当に良かった〉あとは、人手の問題とお金の工面である。

８月８日、夕方6時に隣の町会にある不動産屋に出かけた。賃貸契約書を取り交わした後の別れ際に「奥さんの顔には、いい人と書いてありますよ」と家主となるSさんの冗談が嬉しかった訳ではないが、580万円を支払ったにしては、なんともすがすがしい帰り道である。

信号待ちで、夫が「頑張ろうな」と手を差し出した。つないだ手を幼児が行進するかのように大きく振りながら二人は横断歩道を渡った。

当時の日本経済は、バブル期後半で景気の衰退が忍び寄っていた。もちろん、小市民の我々夫婦に社会が今ほどに大きく変化するとは予想だにできなかった。

手軽にクッキング　１１０　＜12月のスープ＞

「かき玉野菜スープ」

＜材料＞２人分（１人分１０９kcal）

トマト（小）	１個
玉ねぎ	１／４個
生椎茸	２枚
オリーブ油	小さじ1
ベーコン	１０ｇ
おろしにんにく	少々
卵	１個
水	４００cc
塩コショー	小さじ１／３

＜作り方＞

1. トマトはへたをとり、８等分にし、更に横半分に切る
2. 玉ねぎは薄切りにする
3. 生椎茸は、千切りにする
4. ベーコンは一口大に切る
5. 鍋にオリーブ油とベーコン・にんにくを入れて炒め、玉ねぎを加えて炒める
6. ４の鍋に生椎茸を入れて炒め、更に１のトマトを加える
7. ５の鍋に水を加え、アクをとりながら蓋をして５分煮る
8. 塩コショーして、味を整える
9. 溶き卵を回し入れ、火を止める
10. 器に盛り付ける

◆スープが残ったら、洋風雑炊にしても美味しいです！

（協力：食育支援部）

エッセイ No.167

「令和元年72歳の夏の事！」

土門（どもん） 喜惟子（きいこ）

私は普段から、加齢に負けない健康増進と体力作りをしたいと機会があるごとに、ハイキング、ウォーキング、シニアヨガ、ストレッチ体操等に勤しみ、楽しんでいました。

ある日テレビで「この靴は履いて歩くだけで、内股の筋肉が強化される画期的な靴です！」と買いたい気持ちをそそるコマーシャルが流れました。早速、購入し届いたのが4月30日。

梅雨を避け、7月半ばから履き始め、約1か月。10回程履いた頃に左膝に痛みを自覚しました。この靴は左右共、内側に足が傾く状態で歩く形になります。これがこの靴の特徴なのだろうと思いそのまま履き続けました。

山登りの時に伴う足の筋肉痛であれば7～10日で自然に解消するので、今回も自然解消するものと思いましたが、益々痛みはひどくなりました。

ついに歩行困難になり、あまりの痛さに医者探しもままならず、救急車を要請し、生まれて初めて救急車で運ばれることになりました。応急処置をしてもらい、なんとか帰宅できましたが、整形外科に通うことになりました。

先生には、この靴の傾斜角度が10度もあることを指摘され、「今後は履くことを禁止してください！」と言われました。

《このまま歩くことが出来なくなったらどうなるの？》と不安感と絶望感に襲われ、食欲は失せ、気持ちは落ち込み沈み、顔から笑みが無くなっている自分がいました。悲しみに打ちひしがれ、《一体、私の足はどうなってしまったのだろうか》と思い煩いながらも、決まっている予定は予定として、時間がかかっても松葉杖をつき、フラダンスは見るだけ、カラオケ2か所、英会話教室、仲良し5人組の健康マージャン等をこなしていきました。

場面変わって9月27日。2か月に一度の内科の検診で先生から、お褒めのお言葉を頂きました。「土門さん、頑張ったね！これからもこの調子でね！」私にとって最大の悩みだった血糖値が下がったのです！こんなに嬉しく愉快に思ったことは、最近無く、スキップしたい気持ちを抑え病院を後にしました。膝の痛みで落ち込み沈み、食欲が失せた結果、あの程度の食生活で十分であったのだと教えられたのです。

落ち込んでいた気持ちも晴れて、俄然元気を取り戻していたある日、常々目にしていた『すみだ消費者センター』に吸い寄せられるように足が向き、助言を頂いてから直ぐ対応した結果は、クーリングオフの期間がとうに過ぎているにも関わらず、その靴の返品が叶いました。

現在、2週間に1回、リハビリのため通院していますが、つくづく感じるのは、「人生、何が災いして、何が幸いするか分かったものではない。身に起きる良いこともそうでないことでも、一喜一憂しなくても良いのではないか？」ということです！

振り返って今年の夏は、痛い思いもしましたが嬉しいこともあったり、記憶に残る思い出の夏になりました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

「シニア人材バンク　登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

令和元年度　第５回　生きがい講座

韓国韓紙工芸講座

韓国服（ハンボック）の人形型眼鏡入れを作ろう！

【日時】令和２年１月30日（木）午後１：30～午後３：30

【会場】すみだリバーサイドホール第１会議室（区役所に併設）

【費用】1,000円（材料費）　　【定員】20名

【持ち物】エプロン、はさみ、作品（約20㎤）お持ち帰り用袋

【対象】おおむね55歳以上の方

人形型眼鏡入れの色は他に青、紺系が有ります。
眼鏡以外にもアクセサリーやペンを入れられ、用途は多々あり使い勝手がいいです。あなたは何を入れますか。

■申込み・問合せ：NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0032　墨田区東向島1-17-8-2F
電話：03-5631-2577　／　Fax:03-5631-2578
（受付時間：平日午前10時～午後４時）
■企画・運営：NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
■主　　催：墨田区

つながる墨田区

発行　墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話　03-5608-6168

編集　NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0032　東京都墨田区東向島1－17－8
電話　03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間：平日午前１０時～午後４時)
メール　tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ http://tehnendosukoiclub.jpn.org/

編集後記

暑い夏が去って、秋が来ると待っていたが、しびれを切らしていた。いったい秋はどこに行ってしまったのか。取材から原稿書きで忙しくなる月末が迫って来たが、今年も紅葉を見に行きたいと天気予報を毎日、注視していた。成田山公園であれば１時間で行ける。11月24日は紅葉まつりが最終日なので、雲行きは怪しかったが、思い切って出かけた。無事雨には降られず、紅葉を楽しめた。これでまた元気が出たので、最後の作業にとりかかっている。